



VARI***LITE**

VL800 EVENTPAR WW

ユーザーマニュアル

安全にお使いいただくために

警 告



- 演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しないでください。一般用照明器具として使用する製品ではありません。



- 弊社指定の使用条件でお使いください。
使用条件を厳守されないと、感電・火災の原因となります。



- 器具の本体質量に見合ったスタンド（取付金具）を使用してください。
スタンド（取付金具）の選定を間違えると落下し、物的損害・けがの原因となります。



- 器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面（照射方向を除く）との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとって、取付けてください。
指定距離より近すぎると、火災の原因となります。



- 集光形照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとってください。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。



- 器具の使用角度に制限があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用してください。
使用角度範囲を越えると、器具の破損、ランプの破裂の原因となります。



- 器具の取付・設置時は、電源コードを器具本体に接触しないように取付けてください。
接触していると火災の原因となります。



- 器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らないでください。
本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。



- 器具を分解したり改造しないでください。
故障・感電・火災の原因となります。



- 煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。



- 異常の時は、すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、弊社に修理依頼をしてください。

注 意

1. 使用環境・使用条件について

- この器具は屋内用です。
- この器具は最高周囲温度以下で使用してください。
破損・変形・火災とランプの破裂の原因となることがあります。
- この器具は許容周囲温度内で使用してください。
- 不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。
倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。

2. 取付・設置について

- 器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の取付・設置は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 据付施工は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。
未熟者だけでの対応は、間違いの原因となることがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付・設置に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付・設置には、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく行ってください。
器具が転倒・落下し、物的損害・けがの原因となります。
- 器具本体はアース接続（D種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。

3. 使用前の準備について

- 器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
- 器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。
接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。
- 器具内部の輸送用緩衝材などを取り外して使用してください。
残材があった場合は、器具の破損・火災の原因となります。

4. 使用方法について

- 器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 器具、電源ボックス（整流器）の取付に方向性があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。
指定以外の取付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
- 器具の取付けには、器具本体の転倒・落下防止を取扱説明書に従って正しく取付けてください。
確実に取付けしないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因となります。

注 意

- 器具本体はアース接続（D種接地）してください。
アース接続をしないと感電・故障の原因となることがあります。
- 器具の安全シールド（レンズ、ガラス等）を取り外して使用しないでください。
ランプの破裂などにより破片等が落下し、火災・やけどの原因となります。
- 地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が、点検を行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。

5. 保守点検について

- 器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置してください。
- 器具の点検（整備）は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
- 部品交換、清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電することがあります。
- 電源コード、接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
感電・火災の原因となることがあります。
- 冷却ファンは、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。
器具の故障・火災の原因となります。
- 安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
ランプの破裂などにより破片が落下し、火災・やけどの原因となります。
- レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。
レンズの破損・けがの原因となります。
- 器具のネジ類は、振動等で緩む場合があります取扱説明書に基づき処置してください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
- 埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないでください。
火災の原因となります。
- 交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。
- 日常点検の他に弊社や専門家による定期点検を実施してください。
器具の機能劣化・故障・感電・火災の原因となります。

6. 保管時について

- 埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。
- 安全シールドに損傷を与えないように保管してください。
安全シールドの効力をなくす原因となります。
- 再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
感電・火災の原因となるおそれがあります。

目次

はじめに	2
1. このマニュアルについて	2
2. 同梱物	2
3. 安全に関する重要な情報	2
設置とセットアップ	3
1. 取り付け	3
2. セットアップ	3
コントロールパネル	3
メイン機能	3
器具の制御方法	8
メンテナンス	11
トラブルシューティング	11
クリーニング	11
技術仕様	11
重要情報	12

はじめに

1. このマニュアルについて

この文書では以下の製品の設置と操作の説明が記載されています。

- ・ VL800 EVENTPAR WW

この製品を設置または使用する前にすべての説明をよくお読みください。今後参照するためにこのマニュアルは保管しておいてください。より詳細な製品の情報と説明は製品仕様書を確認してください。

2. 同梱物

それぞれの VL800 EVENTPAR WW には以下の本体・付属品が同梱されています。

- ・ VL800 EVENTPAR WW
- ・ クイックスタートガイド
- ・ 電源ケーブル
- ・ 安全ワイヤー

3. 安全に関する重要な情報

- ・ 器具を使用する前に開梱して輸送中の損傷がないかよく確認してください。
- ・ 設置と操作は作業に習熟した経験者が行ってください。
- ・ 吊って設置する際は安全ワイヤーを使用してください。
- ・ 十分な換気ができており隣接した表面から最低 50cm 以上離れた場所だけに設置してください。
- ・ オーバーヒートを防ぐために排気口が塞がれていないことを確認してください。
- ・ 操作する前に器具の電源要件に適合した電源の電圧と周波数であることを確認してください。
- ・ 感電を防ぐために黄色 / 緑色の導線がアースに接地していることが重要です。
- ・ 最高周辺温度 TA:40℃ 最低周辺温度 TA:0℃ この温度以上の場所で動作させないでください。
- ・ 器具を調光ユニットに接続しないでください。
- ・ 最初に電源を投入した際、煙または匂いが発生することがあります。それらは数分後にすべて無くなります。
- ・ 火災の危険性があるため、器具の動作中に可燃物が近くに無いことを確認してください。
- ・ 電源ケーブルを注意深く確認し、もし損傷があった場合はすぐに交換してください。
- ・ 使用中に器具の表面温度は最高 65℃に達する場合があります。筐体を触らないでください。
- ・ 寿命を縮めないために長時間連続で動作させないでください。
- ・ 汚れて埃の多い環境で使用しないでください。また器具を定期的に掃除メンテナンスしてください。
- ・ 子供に器具の操作をさせないでください。
- ・ 感電の危険があるため動作中はケーブル・ワイヤーに触れないでください。
- ・ 他のケーブルの周りに電源ケーブルを一緒にしてまとめないでください。
- ・ 操作上の深刻な問題が発生した場合、直ちに器具の使用を中止してください。
- ・ 器具の電源を何度も連続してオン / オフしないでください。
- ・ もし目視で筐体、レンズ、紫外線フィルターの損傷が確認されたら必ず交換してください。
- ・ ユーザーが修理交換可能な内部部品は無いので器具を分解しないでください。ユーザー自身で器具の修理を試みないでください。未熟者による修理作業は破損または故障の原因となります。修理については販売代理店へお問い合わせください。
- ・ 長期間器具を使用しない場合は主電源の接続を外してください。
- ・ 再度輸送する場合は元の梱包材を使用してください。
- ・ 感電または火災のリスクを防止または軽減させるために、器具を雨または湿気にさらさないでください。
- ・ 器具が点灯している最中に LED 光源の光を直視しないでください。
- ・ 機械を保護するために電源を再投入する場合は、電源を切ってから 10 秒待ってから電源を再接続してください。

設置とセットアップ

1. 取り付け

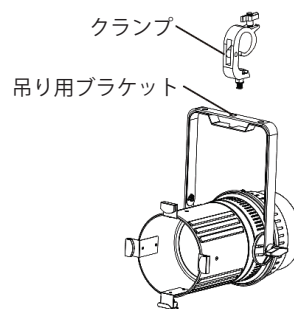
器具はブラケットにあるネジ用の穴を介して取り付けてください。

操作中に振動やずれがないようにするため、器具がしっかりと固定されていることを常に確認してください。

器具を取り付ける構造物は、安全で器具重量の 10 倍を保持できることをよく確認してください。

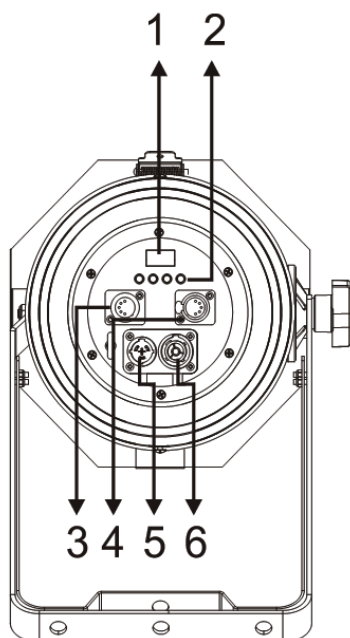
また、器具を設置する際は器具重量の 12 倍を保持できる安全ケーブルを常に使用してください。

器具は専門家によって取り付け作業を行わなければなりません。



2. セットアップ

コントロールパネル



- ① 液晶ディスプレイ - メニューと選択した機能を表示
- ② ボタン：
 - MENU - 搭載された機能を選択
 - DOWN - 選択した機能に戻る
 - UP - 選択した機能を進む
 - ENTER - 選択した機能を確定する
- ③ DMX 入力 - DMX コンソールへつながる 5 ピン XLR ケーブルを接続
- ④ DMX 出力 - 次の器具へつながる 5 ピン XLR ケーブルを接続
- ⑤ 電源入力 - 電源へ接続します
- ⑥ 電源出力 - 次の器具へ接続します

メイン機能

機能を選択するには、ディスプレイに希望する機能が表示されるまで MENU ボタンを押します。

ENTER ボタンで機能を選択するとディスプレイが点滅します。DOWN と UP ボタンを使用してモードを変更します。

希望するモードが選択されたら ENTER ボタンを押して設定を完了させます。または 1 分間そのまま何も変更しないと自動的にメイン機能の表示に戻ります。

何も変更せずに機能表示に戻るには MENU ボタンを押します。

メイン機能を表 1 に示します。(次ページ)

表1 メニュー機能						
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	初期設定
Address	000-512 (スタートアドレス設定)					(初期設定 001)
Configure (設定)	LED	LED Hours	XXXXXX h			
		Dimming Curve (調光カーブ)	Square Law Curve			(初期設定)
			S Law Curve			
			Linear Law Curve			
		Output / Fan Mode (出力・ファンモード)	Standard			(初期設定)
			Studio			
			Whisper			
		Dimming Speed (調光反応速度)	Fast			
			Slow			(初期設定)
		White Balance (ホワイトバランス)	Red			
			Green			
			Blue			
			Amber			
			Reset to default (初期設定にリセット)			
		Frequency (周波数)	900Hz			
			910Hz			
			920Hz			
			930Hz			
			940Hz			
			950Hz			
			960Hz			
			980Hz			
			990Hz			
			1000Hz			
			1500Hz			(初期設定)
			2500Hz			
		4000Hz				
	Display	Orientation (表示方向)	Up			(初期設定)
			Down			
		(表示時間) On time	30 sec (30秒)			(初期設定)
			5 min (5分)			
			10 min (10分)			
	On (常に表示)					
	Reset Defaults	Are you sure? (初期設定へリセットしますか? >ENTERで実行)				
DMX	Data (DMXデータ表示)	Ch 1 - Intensity XXX (V値)e				
		Ch 2 - Intensity Fine XXX (V値)e				
		以下すべての機能				
	DMX Mode (DMXモード)	16-bit			(初期設定)	
		8-bit				
		Single channel				
	No Data (DMX断時の動作)	Last hold DMX (最後の出力を保持)				
		Black out (消灯)			(初期設定)	

表1 メニュー機能						
レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6	初期設定
Fixture (器具)	Status	(状態表示)				
	Reboot Fixture	Are you sure? (再起動しますか? >ENTERで実行)				
	Version	VXXX	(器具ソフトバージョン)	MM/DD/YY	HH:MM	
	Fixture Hours	XXXXXXX h	(器具使用時間)			
	Crossload (software)	Send	(他の器具へ器具ソフトを送信)			
	Service	Diagnostics	Fan Check (ファンチェック)			
LED Temp (LED温度)						
Manual Control (手動操作)	Intensity	値 0 - 255			(初期設定 0)	
	Intensity fine	値 0 - 255			(初期設定 0)	
	以下すべての機能	すべての機能			(初期設定 0)	
Test (テスト)	All Test	(すべてのテスト実行)				

Address (アドレス)

アドレス — DMX アドレス設定。Address (DMX アドレス) を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して 001 から 512 までのアドレスを選択してから、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Configure (設定)

Configure (設定) を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して LED、Display または Rest Defaults を選択します。

LED

LED を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して LED を選択します。

Hours, Dimming Curve, Output / Fan Mode or Frequency (時間、調光カーブ、出力・ファンモード、周波数)

保存するには ENTER ボタンを押します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

LED Hours (LED 時間) — LED Hours を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。LED 使用時間が表示されます。MENU ボタンを押して戻り終了します。

Dimming Curve (調光カーブ) — Dimming Curve を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Square Law Curve、S Law Curve、Linear Law Curve の中から選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Output / Fan Mode (出力・ファンモード) — Output/Fan Mode を選択して ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Standard、Studio、Whisper、Silent を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Dimming Speed (調光速度) — Dimming Speed を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Fast または Slow を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

White Balance (ホワイトバランス) — White Balance を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Red、Green、Blue または Reset to default (初期設定に戻す) を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Frequency (周波数) — Frequency を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して 900Hz、910Hz、920Hz、930Hz、940Hz、950Hz、960Hz、970Hz、980Hz、990Hz、1000Hz、1500Hz、2500Hz、4000Hz を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Display (ディスプレイ) — Display を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。On Time が表示されます。ENTER ボタンを押して選択します。UP/DOWN ボタンを使用して、30Sec、5 Min、10Min (30 秒、5 分、10 分) または On (常時点灯) を選択し、ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Reset Defaults (初期設定へリセットする) — Reset Defaults を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。Are you sure? とディスプレイに表示されるので、ENTER ボタンを押して実行します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

DMX

DMX を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Data (データ) または DMX Mode (DMX モード) を選択します。

Data (データ) — Data を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Ch 1 - Intensity (輝度)、Ch 2 - Intensity Fine (輝度微調整)、…以下すべての機能を選択します。ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

DMX Mode (DMX モード) — DMX Mode を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して 16-bit、8-bit、Color Mode を選択します。ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

No Data (無信号時の動作) — No Data を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Last output hold (最後の出力状態を保持) または Black out (消灯) を選択します。ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Fixture

Fixture を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Status、Reboot Fixture、Fixture Hours、Crossload (Software)、Service を選択します。

Status (状態表示)

Status を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。Status (器具状態表示) が表示されます。MENU ボタンを押して戻り終了します。

Reboot Fixture (器具の再起動)

Reboot Fixture を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。Are you sure? とディスプレイに表示されるので、ENTER ボタンを押して実行します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で 1 分間経過するとメニューモードを終了します。

Version (バージョン)

Version を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。Version (器具ソフトウェアのバージョン) が表示されます。MENU ボタンを押して戻り終了します。

Fixture Hours (器具使用時間)

Fixture Hours を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。Fixture Hours (器具の使用時間) が表示されます。MENU ボタンを押して戻り終了します。

Crossload (Software) (ソフトウェアのクロスロード)

Crossload (Software) を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。Send (送信) とディスプレイに表示されるので、ENTER ボタンをボタンを押して実行します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で1分間経過するとメニューモードを終了します。

注記 器具に DMX が入力されていない状態で実行する必要があります。そうしないとソフトウェアクロスロードは有効になりません。

Service (サービス)

Service を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Service Settings (サービス設定) または Diagnostics (診断) を選択します。ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で1分間経過するとメニューモードを終了します。

Diagnostics (診断)

Diagnostics を選択して、ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Fan Check (ファンの確認)、Board Check (基盤の確認)、Sensor Check (センサーの確認)、Led Temp (LED 温度) を選択します。ENTER ボタンを押して完了します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で1分間経過するとメニューモードを終了します。

Manual Control (手動操作)

メニューモードに入り Manual Control を選択します。ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して Intensity、Intensity fine、…以下すべての機能を選択します。UP/DOWN ボタンを使用して 0 から 255 の間で値を調節します。ENTER ボタンを押して保存します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で1分間経過するとメニューモードを終了します。

Test (テスト)

メニューモードに入り Test を選択します。ENTER ボタンを押して確定します。UP/DOWN ボタンを使用して All Test またはテストするチャンネルを選択します。

All Test (全機能テスト)

All Test を選択して ENTER ボタンを押して確定します。器具はテストを実行します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか自動テスト終了後にメニューモードを終了します。

Test Channel (個別チャンネルテスト)

Test Channel を選択して ENTER ボタンを押して確定します。現在のチャンネルがディスプレイに表示されます。UP/DOWN ボタンを使用して Intensity、以下すべての機能のチャンネルを選択します。ENTER ボタンを押して確定します。それから UP/DOWN を使用して値を調節します。ENTER ボタンを押して保存します。器具は設定されたチャンネル値が示すように実行します。MENU ボタンを押して前のメニューに戻るか器具の操作を何もしない状態で1分間経過するとメニューモードを終了します。

器具の制御方法

器具は DMX コントローラーからの制御することができます。

DMX512 のチャンネル設定

表 2 16 ビットチャンネルモード

チャンネル	機能	値	詳細
1	輝度 ハイ	0-65535	調光用 16ビット制御
2	輝度 ロー		
3	ストロボ速度	0-255	0.5Hz ～ 30Hz
4	ストロボ機能	000-005 006-010 011-015 016-020 021-025 026-255	オープン クローズ 通常ストロボ ランダムストロボ ランダム同期 未使用
5	制御チャンネル	000-005 006-010 011-015 016-020 021-025 026-030 031-035 036-040 041-045 046-050 051-055 056-060 061-065 066-070 071-075 076-080 081-085 086-090 091-100 101-110 111-120 121-130 131-255	アイドル (通常) 全点灯 再キャリブレーション 未使用 未使用 器具シャットダウン ディスプレイ — メニュー点灯 ディスプレイ — メニュー消灯 調光カーブ リニア 調光カーブ Sカーブ 調光カーブ スクエアカーブ (初期設定) 未使用 未使用 調光スナップ 有効 調光スナップ 無効 (初期設定) 未使用 未使用 通常モード スタジオモード ウィスパーモード 未使用 ファン 有効 (初期設定) ファン 自動 未使用

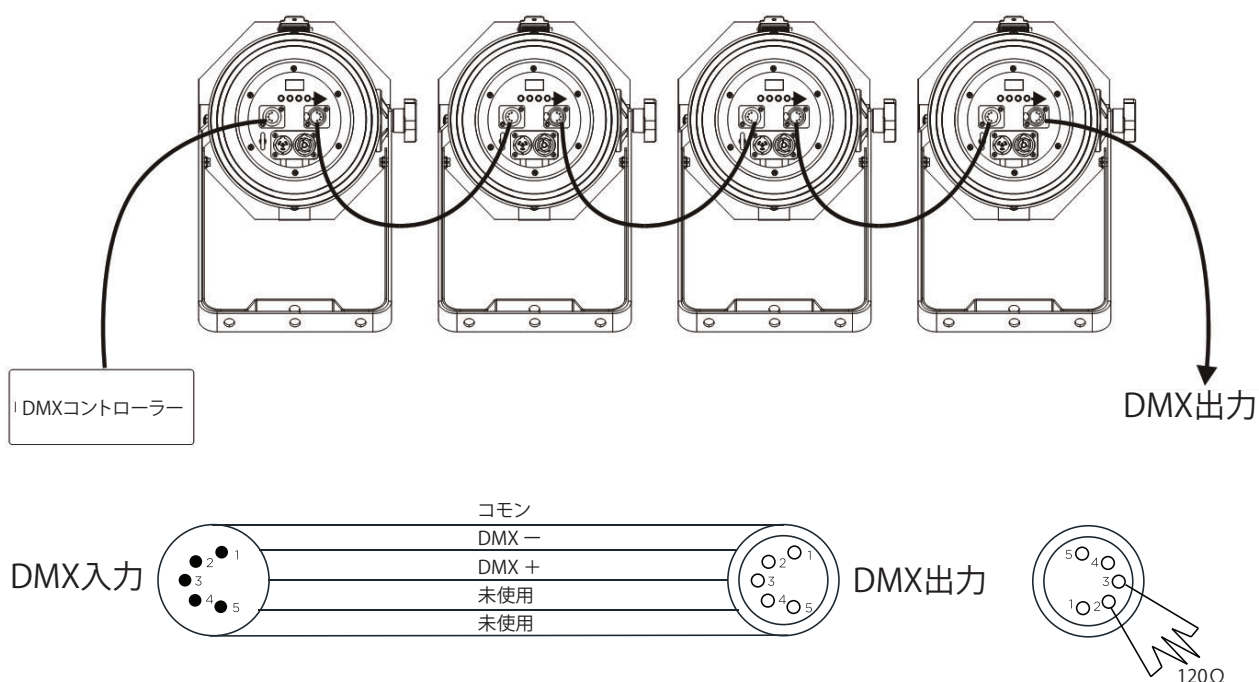
表 3 8ビットチャンネルモード

チャンネル	機能	値	詳細
1	輝度	0-255	調光用 8ビット制御
2	ストロボ速度	0-255	0.5Hz ~ 30Hz
3	ストロボ機能	000-005 006-010 011-015 016-020 021-025 026-255	オープン クローズ 通常ストロボ ランダムストロボ ランダム同期 未使用
4	制御チャンネル	000-005 006-010 011-015 016-020 021-025 026-030 031-035 036-040 041-045 046-050 051-055 056-060 061-065 066-070 071-075 076-080 081-085 086-090 091-100 101-110 111-120 121-130 131-255	アイドル(通常) 全点灯 再キャリブレーション 未使用 未使用 器具シャットダウン ディスプレイ — メニュー点灯 ディスプレイ — メニュー消灯 調光カーブ リニア 調光カーブ Sカーブ 調光カーブ スクエアカーブ(初期設定) 未使用 未使用 調光スナップ 有効 調光スナップ 無効(初期設定) 未使用 未使用 通常モード スタジオモード ウィスパーモード 未使用 ファン 有効(初期設定) ファン 自動 未使用

表 4 シングルチャンネルモード

チャンネル	機能	値	詳細
1	輝度	0-255	調光用 8ビット制御

DMX512 の接続方法



- 最後の器具で DXM ケーブルはターミネーターでターミネート（終端）されなければなりません。5 ピン XLR プラグ内のピン 2（DMX -）とピン 3（DMX +）の間に 120 Ω 1/4W の抵抗をはんだ付けして、最後の器具の DMX 出力に挿し込みます。
- 器具の出力から次の器具の入力へ XLR プラグでデジチェーン（数珠つなぎ）によって器具同士を接続してください。ケーブルは分岐または Y ケーブルのように分割することはできません。DMX512 はとても高速な信号です。不適切なまたは損傷したケーブル、はんだ付けの接合または腐食したコネクタは簡単に信号を歪めたり、システムをシャットダウンさせることがあります。
- いずれか 1 台の器具の電源接続が切れた時に DMX 出力と入力のコネクタは DMX 回路を維持するために、パススルーになっています。
- それぞれの照明器具はコントローラーから送信されるデータを受信するためにアドレス設定が必要です。address 番号は 0 ～ 511 の間です。（通常 0 と 1 は 1 と同じです。）
- DMX512 システムの末端には信号エラーを低減するために終端処置が必要です。（ターミネーターの取り付け）
- 5 ピン XLR — ピン 1：GND、ピン 2：ネガティブ信号（-）、ピン 3：ポジティブ信号（+）、ピン 4・ピン 5：未使用

メンテナンス

トラブルシューティング

以下は使用中に発生する可能性がある一般的な問題です。

器具が動作しない — 点灯せずファンが回らない

- 電源ケーブルの接続とヒューズを確認してください。
- メインコネクタの電源電圧を測定してください。

DMX コントローラーの操作に反応しない

- DMX LED が点灯しているか確認してください。不点灯の場合は DMX コネクタ、ケーブルをチェックして正しく接続されているか確認してください。
- もし DMX LED が点灯していてチャンネルに無反応だった場合、アドレス設定と DMX の極性を確認してください。
- もし間欠的な DMX 信号の問題がある場合、該当する器具またはその前の器具にあるコネクターのピンまたは PCB のピンを確認してください。
- 他の DMX コントローラーを使用して確認してください。
- DMX ケーブルが高電圧ケーブルの近くまたは一緒に配線されていないか確認してください。そのように配線すると DMX インターフェイス回路に損傷または干渉が発生する可能性があります。

クリーニング

内部のクリーニングは光の出力を最適化するために定期的に行ってください。クリーニングの頻度は器具の設置環境によって異なります。湿気、煙、特に汚れのある周辺環境では器具の光学系に汚れがさらに蓄積することがあります。

- 通常のコラスクリーニング液を使用し、柔らかい布で清掃してください。
- 常に部品を乾燥させるように気をつけてください。
- 最低 30 日おきに外部光学系を清掃してください。

技術仕様

以下サイトからダウンロードできる製品データシートを参照してください。

www.vari-lite.com

重要情報

警告と注意

電気機器を使用する時は、次の項目を含む基本的な安全対策を常に守って使用してください。

安全に関する注意事項をよく確認して遵守してください。

- ・ 室内で乾燥した場所のみで使用してください。屋外では使用しないでください。
- ・ ガスまたは電器ヒーターの近くに設置しないでください。
- ・ 機器は資格の無い作業員による許可のない変更を容易にされない場所と高さに設置する必要があります。
- ・ 製造メーカーが推奨していない周辺機器を使用すると安全ではない状態になる可能性があります。
- ・ 住宅用ではありません。この機器は本来の用途以外で使用しないでください。
- ・ 有資格作業員へ修理を依頼してください。



これらの指示事項を遵守してください。



警告：ケーブル配線作業を行う前にメインサーキットブレーカーあるいはその他の電源切断装置を操作できる状態になっている必要があります。設置の前にヒューズを取り外すかメインサーキットブレーカーをオフにして電源が接続されていないことを確認してください。電源が入った状態で機器を設置すると人体を危険な電圧にさらして機器に損傷が生じる可能性があります。有資格電器技術者がこの設置を行う必要があります。



警告：ケーブルの仕様については、National Electrical Code® または各国の規則を参照してください。適切なケーブルを使用しないと機器に損傷が発生するか作業員に危険が及ぶ可能性があります。



警告：この器具は National Electric Code® および各国の規則に沿って設置することを想定しています。また、室内用途の設置のみを想定しています。電気工事作業を行う前にショックや制御機器の損傷を避けるため、サーキットブレーカーから電源を切断するかヒューズを取り外してください。有資格電機作業員が設置作業することを推奨します。

カスタマーサービス

この製品に関するお問い合わせは、本書巻末に記載されているウシオライティングまでご連絡ください。

保証

日本国内の保証については、製品に付属している保証書をご確認ください。

日本語 (Japanese) Ver1.0 2020/10/12

ウシオライティング株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-9-1 RBM 東八重洲ビル Phone: 03-3552-8264 (直)
大阪支店 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 6-1-1 新大阪プライムタワー 6F Phone: 06-7177-4669 (代)
名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-16-20 グリーンビルディング Phone: 052-218-4520 (代)
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-13-28 ヴィトリアビル Phone: 092-411-5945 (代)
つくばテクニカルセンター 〒300-2635 茨城県つくば市東光台 5-2-4 Phone: 029-847-7421 (直)

<http://www.ushiolighting.co.jp/>

ウシオライティング株式会社は Vari-Lite の正規輸入代理店です。